



農林水産費
19億9859万円

農業経営活性化
農業経営活性化
(JA愛知みなみライスセンター施設整備補助など)
4億3668万円

問 農業経営活性化事業の人材育成調査の内容と結果は。

答 内容は、豊橋田原広域農業推進会議が実施した、農業教育機関の創設を含めた次世代人材育成のあり方の検討。結果として、地域農業の維持発展のためには担い手の育成、確保が最も重要、また、地域農業の魅力あるライフスタイルづくりにつながる農業系高等教育機関の整備を進めていく必要があるという報告がされた。

問 水産業担い手育成事業の内容と効果は。

答 「渥美あさり」の担い手を育成するため、先進地視察と担い手づくりの方向性の検討を行った。視察は、アサリの養殖方法やブランド化について大変参考となった。



土木費
40億5324万円

福江地区まちづくり事業
1億12万円

問 景観重点整備地区まちづくり支援は、いつまでを予定しているのか。

答 田原中部地区、福江地区、ともに景観まちづくりを意識のある方に集まってもらい、将来の景観に配慮したまちづくりをどのようにしていくかという検討をしている。景観計画に結びつく活動として、いったんの区切りはあると思われるが、いつまでというのは今のところ決めていない。

問 (仮称) 弥八島海浜公園の測量設計の成果は今後につながるかと考えて良いか。

答 民間活力の導入も踏まえ、また、地域の意見も踏まえながら、昨年度整理した基本計画案をベースにし、ビジョンや活用方法について、今後詰めていきたい。



教育費
35億389万円

野田小学校体育館整備
3億8869万円

問 児童生徒の学力向上を図ることを目標に配置された「学びのみかた」非常勤講師の取り組みの成果は。

答 きめ細かな指導が可能となり、学力向上につながる漢字や計算など基礎・基本が身につけている。

問 教育サポートセンターの相談件数が増えているが、対応は。

答 相談できる場ができたことや相談を受ける体制が整ってきたこと、問題が深刻になる前に相談できるということが、相談件数の増加につながっている。相談には、十分対応できていると捉えている。

問 図書館と学校図書館との連携は。

答 図書館と学校図書館との連携は、学校への資料の提供、学校司書の研修のほかに、学校司書との意見交換・情報共有のための合同会議を年4〜5回実施している。

特別会計・企業会計

一般会計と分けて経理する必要があるため、事業別に分けられた会計です。

会計	区分	歳入総額	歳出総額	差引額
特別会計	国民健康保険	92億9778万円	89億6867万円	3億2911万円
	公共下水道事業	17億1972万円	16億5668万円	6304万円
	農業集落排水事業	9億4865万円	8億5095万円	9770万円
	田原福祉専門学校	1億2416万円	1億2415万円	1万円
	介護保険	46億2436万円	42億3445万円	3億8991万円
	後期高齢者医療	6億9026万円	6億8651万円	375万円
水道事業会計(企業会計)		収益的収入13億5302万円	収益的支出13億1019万円	4283万円

※万円未満切り捨て